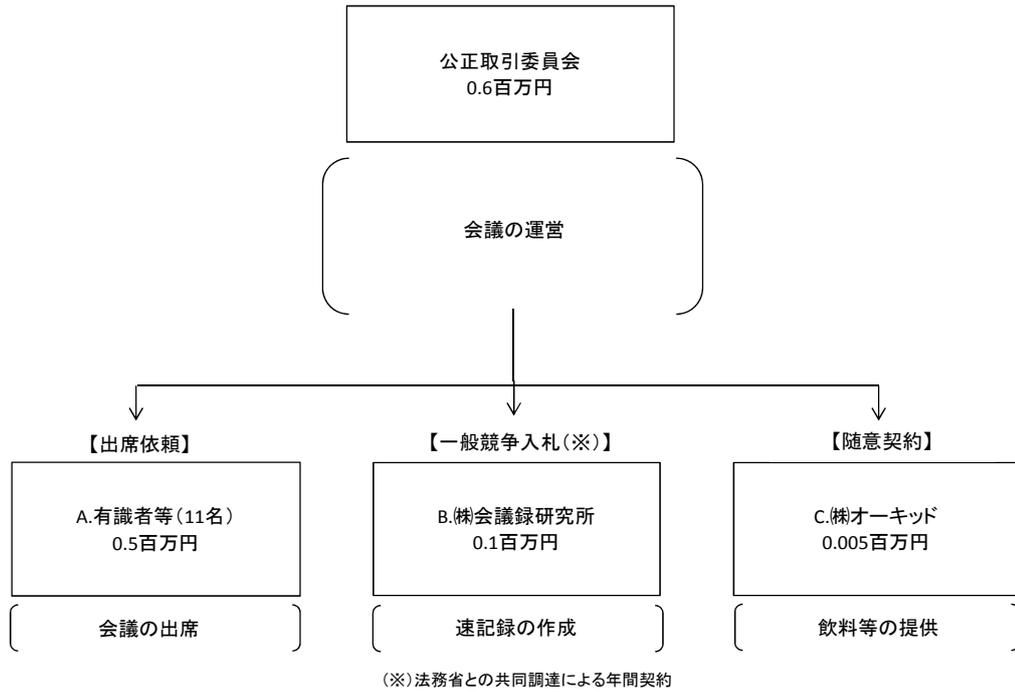


平成26年行政事業レビューシート

(公正取引委員会)

事業名	政府規制・公的制度等に関する検討会議		担当部局庁	経済取引局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和55年度～終了(予定)なし		担当課室	経済取引局調整課	杉山 幸成			
会計区分	一般会計		政策・施策名	③競争政策の広報・広聴等				
根拠法令(具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国における社会的・経済的情勢の変化を踏まえ、政府規制・公的制度について、競争政策の観点から検討し、必要に応じて提言等を行い、また、各府省における規制の事前評価に当たっての競争評価の内容の向上を図ることで、競争的な市場環境を創出する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	政府規制・公的制度の競争政策の観点からの提言等については、経済法や各分野で知見を有する有識者から意見を聴取するなどして、検討を行っている。また、競争評価の在り方については、経済学や規制の事前評価の知見を有する有識者を招いて検討を行っている。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算	1.5	1.5	1.3	1.4		
		前年度から繰越し	0	▲0.1	0			
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0		
		予備費等	0	0	0			
		計	1.5	1.4	1.3	1.4		
		執行額	0.2	0.3	0.6			
	執行率(%)	13	20	44				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果目標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値(年度)	
	政府規制・公的制度、競争評価等に関する有識者からの意見聴取・検討が中心であり、政策への反映状況について定量的な指標を設定することは困難。当該事業を通じて、競争政策の観点から有効かつ適切な提言を得るとともに、競争評価の内容のより一層の向上により、競争的な市場環境を創出する。		成果実績					
			目標値					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込	
	検討会議の開催回数		活動実績	回	2	3	5	—
			当初見込み	回	7	7	7	7
	競争評価の実施状況の検証		活動実績	回	82	42	143	—
		当初見込み	回	—	—	—	—	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込	
	検討会議開催に係る経費 ÷ 開催回数 なお、競争評価の実施状況の検証については、特段の費用は発生していない。		単位当たりコスト	円	98,947	96,717	119,118	202,429
			計算式	円/回	197,894/2	290,152/3	595,590/5	1,417,000/7
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.4						
	委員等旅費	0.6						
	経済実態等調査費	0.3						
	計	1.4						

事業所管部局による点検・改善								
項目		評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	平成25年度においては、保育分野を検討対象として取り上げたところ、競争政策の観点から同分野について考え方を整理することは、保育サービスの供給量の増加や質の向上が図られることにつながることも、ひいては、同分野を我が国の成長分野とすることにも資すると考えられる。 また、OECDによる報告等を踏まえて、より充実した競争評価が可能となるよう、競争評価の在り方に係る検討を進める必要がある。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○						
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出は、会員への旅費、謝金、速記録作成、飲料等の提供のみであり、必要最小限の支出に限定している。 旅費及び謝金については、規則・統一単価に基づいて支出している。速記録作成については、法務省との共同調達による年間契約を、飲料等の提供については、複数社による価格比較をすることにより、競争性の確保とコストの削減を図っている。 また、不用額の発生は、平成25年度の検討会議の開催実績が5回となっていることなどに起因するが、これは、規制改革会議において進められている検討・議論に対して、競争政策の観点からの提言を最も適切な時期に行うことを優先したことなどによるものである。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—						
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—						
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○						
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○						
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	有識者が一堂に会した場で議論を行うことにより、効率的に意見を聴取できたほか、有識者間での議論も行われるため、より効率的に意見を聴取できた。 また、保育分野に関する意見交換会での議論を踏まえ、「保育分野に関する調査報告書」を公表した(平成26年6月25日)。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○						
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—						
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名		
点検・改善結果	点検結果	有識者を交えて議論をした結果、より充実した検討を行うことができ、その成果を報告書として公表することにより、競争的な市場環境の創出に役立つと評価できる。 したがって、引き続き、来年度以降も事業を実施する。						
	改善の方向性	引き続き、競争環境を整備するため、今後成長が期待される分野等について、競争政策の観点から調査等を行うよう努める。						
外部有識者の所見								
行政事業レビュー推進チームの所見								
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況								
備考								
関連する過去のレビューシートの事業番号								
平成23年	⑪	平成24年	⑥	平成25年	⑤			



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているかについて補
 足する)
 (単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.会員

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	会議への出席	0.1		
2	個人B	会議への出席	0.08		
3	個人C	会議への出席	0.05		
4	個人D	会議への出席	0.04		
5	個人E	会議への出席	0.03		
6	個人F	会議への出席	0.03		
7	個人G	会議への出席	0.03		
8	個人H	会議への出席	0.03		
9	個人I	会議への出席	0.03		
10	個人J	会議への出席	0.03		

B.㈱会議録研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	㈱会議録研究所	速記録の作成	0.1		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.㈱オーキッド

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	㈱オーキッド	飲料等の提供	0.005		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					